

### 3 月 1 日から「介護予防・日常生活支援総合事業」スタート

## 介護サービスがもっと身近に

「介護予防・日常生活支援総合事業」は、住民やボランティアなどが主体となって、介護サービスが必要な人を地域で支え合うものです。介護サービスがもっと身近になることを目指して、印西市は段階的な取り組みをしています。  
☎高齢者福祉課生きがい支援班 (☎内線 271)。

### 「総合事業」 利用の流れ



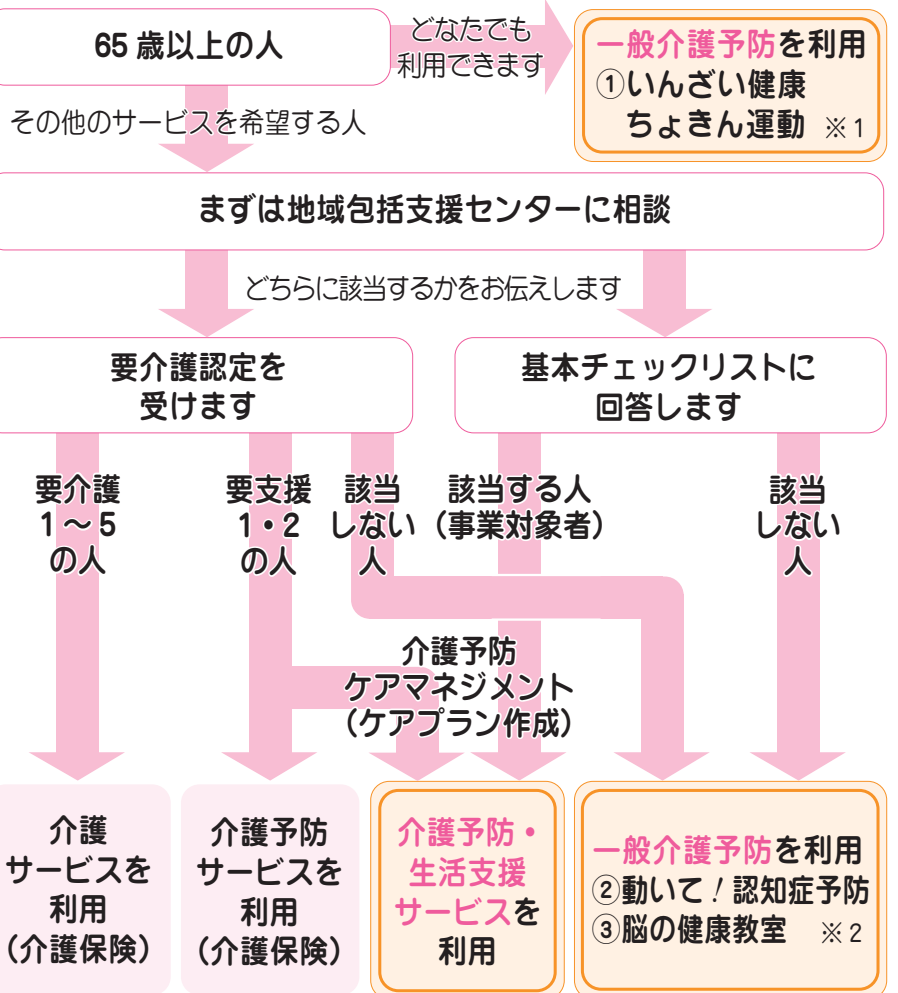
ちょきん運動で健康づくり

#### 一般介護予防

- ①いんざい健康ちょきん運動…住民が主体となって筋力運動をしながら、健康づくりや地域づくりを行います。
  - ②動いて！認知症予防…頭と身体を動かしながら、認知症予防と仲間づくりを行います。
  - ③脳の健康教室…簡単な計算や読み書き、手先を使う「すうじ盤」を行い、脳の老化を防ぎます。
- ☎①おおむね 65 歳以上の人、②③ 65 歳以上で自立した生活が送れる人。

#### 介護予防・生活支援サービス

- ①訪問型サービス ※これまでの訪問介護（ヘルパー）。
  - ②通所型サービス ※これまでの通所介護（デイサービス）。
- ☎介護保険の要支援認定を受けている人、または 65 歳以上で、日常生活に必要な機能についての 25 項目の基本チェックリストで、生活機能の低下が見られる人。
- 新** **いい点** これまで利用している人  
全国一律の介護保険でのサービスから、市の基準によるサービスに変わります。当初はこれまでの内容と同様となりますが、今後は必要に合わせた多様なサービスを展開していきます。
- 新** **いい点** これから利用する人  
要介護認定を省略して、基本チェックリストで事業の対象者を判断するため、これまでより迅速にサービスを受けられます。



※1 自立した生活が送れる人は②③も参加可。※2 ①も参加可。1 つ 1 回の参加に限る。

### 平成 28 年 消防出初式

## 新春を迎え 防災の意識新たに

消防関係者の士気高揚をはかるため、1 月 9 日、印西市消防出初式が松山下公園総合体育館で行われました。

当日は、消防職員、消防団員、小林小学校少年少女消防隊の約 400 人が参加し、市内外から招かれた来賓の前で一糸乱れぬ行動を披露。

また、消防活動に尽力された 131 人 2 団体が功績をたたえられ、千葉県知事表彰など各種消防関係表彰が授与されました。表彰受賞者名は市ホームページに掲載。

☎消防課防災班 (☎内線 454)。



少年少女消防隊(右)、総指揮者の号令のもと規律正しい行動(左)

### 4 人が 受賞

## 社会を明るくする運動 作文コンテスト表彰

犯罪・非行のない地域社会づくりなどを題材とした、社会を明るくする運動作文コンテストの表彰を 1 月 22 日に行いました。千葉県全体の応募作品 17,901 点のうち印西市の応募は 6 年連続で最も多く、2,632 点でした。

受賞者のあいさつで小嶋さんは「まさかこのような賞をもらえるとは思っていませんでした。光栄です」と話していました。

【千葉県作文コンテスト入賞】  
■入選：小嶋貴太(木刈中 3 年)「心に寄りそう人」  
【印西市作文コンテスト入賞】  
■印西市推進委員長賞(市長賞)：佐藤美和(大森小 6 年)「蛍の光る町に」  
■教育長賞：岩井遥(本禁第一小 4 年)「社会を明るくする作文」  
■警察署長賞：篠原菜月(印西中 2 年)「つながる社会」  
—敬称略—  
☎社会福祉課厚生班 (☎内線 256)。

